

ふたばの子育てサロン コトハナサロン



開催予定日

南双

9月16日(水)

11月18日(水)

1月20日(水)

3月10日(水)

北双

8月20日(木)

10月15日(木)

12月24日(木)

2月25日(木)

双葉郡で子育てするママが子連れで
安心してお出かけできる「コトハナサロン」再開します

コロナウイルス感染拡大の影響を受けサロン活動をお休みしていましたが、ママたちからの声を受け、7月から再開することとなりました。
ふたばにゆかりのある方ならどなたでもご参加OK！
お子さんを連れての参加も、ママだけの参加も大歓迎です！

要予約

感染症対策として、
当面の間は参加定員を
設けさせていただきます。
ご予約の上、ご参加ください。
下記の公式LINEアカウントからでも
ご予約できます！

cotohana presents

お子様の健やかな成長のお祝いをお手伝い

ふたばで 七五三 お祝いプラン

2020年 10月25日(日)

4 家族限定

in 諏訪神社【富岡町本岡】

プランの詳細は7月下旬以降、Facebookページでご案内いたします。

<https://www.facebook.com/cotohana.net/>

電話またはメールにてお気軽にお問い合わせください

090-8926-7608 (担当・鈴木) cotohana.net@gmail.com

七五三参りは本来、地元の氏神様にお参りするものが通例とされていますが、震災以降、双葉郡ではその光景が見られなくなっていました。

「双葉郡で七五三をお祝いしたい」そんなご家族に向けて、コトハナでは撮影・衣装レンタル・着付け・ヘアメイクのセットプランをご用意しました。

震災以降9年ぶりに神事を再開した「諏訪神社」(富岡町本岡)で、七五三をお祝いしませんか？



◆プラン対象日以外でも、諏訪神社では七五三参りの御祈願を受け付けております◆

cotohana
公式LINEアカウント

サロンなどの案内をGET！
イベントへの参加申込も
LINEからOK♪
ぜひお友達登録してください！

ID【@jar5531r】で検索！



フォローお待ちしております！
SNSも随時更新中！



cotohana

双葉郡で子育てするパパ・ママのためのお役立ち情報誌

コトハナ

2020.8



■ cotohana kids model
YUZU&EITA (from NARAHA)

Contents

- ▶ 医療機関情報
- ▶ 特集★スペシャルインタビュー
『ふたばで子育てする人のリアルボイス』
- ▶ インスタおやこサロン・YouTubeチャンネル開設
- ▶ 遊び場・子育てサロン・イベント案内

TAKE FREE

ふたばで 子育てする人の Real VOICE

双葉郡で子育てする家族を徹底解剖!!

震災から9年。

少しずつ地域での営みが再開し、

まちには子どもたちの声も戻ってきました。

「本当のところ、双葉郡で子育てするって、どう?!」

「まだまだ不便も多そうだけど、

みんなどんな風に工夫しているの?!」

そういった疑問の声に応えるべく、

双葉郡に帰還して子育てをしている人、

震災後はじめて双葉郡で暮らし、子育てしている人に、

双葉郡で子育てするリアルを聴いてみました。

取材に応じてくれた人

榎葉町在住

家族構成

おじいちゃん
おばあちゃん
パパ
ママ
Sくん
家庭保育

ママのYさん
《関東出身》

取材当時
第2子を妊娠中

榎葉町の子育て支援はどんなものがあるの?

- ・毎月保健師による母子健康相談会
- ・ベビーママ教室の実施
- ・チャイルドシート・ベビーシートの購入費の一部を補助
- ・乳幼児の子育て世帯を対象にしたプレミアム商品券の販売
- ・.....など

(※詳細は行政HPなどをご覧ください)

長男Sくん
《取材当時 2歳3ヶ月》

Q Yさんは関東のご出身ですね?

震災後、榎葉に暮らすようになったきっかけを教えてください。



農業関係の仕事で、避難指示解除前から町には何度か来ていて、2015年9月の避難指示解除後に移住しました。そのとき町内で農業を営んでいる現在の義父母・夫と出会い、2017年に結婚し、夫の実家に暮らしています。結婚の翌年、長男を出産しました。

Q 榎葉で暮らすこと、子育てすることに不安を感じることはありませんでしたか?



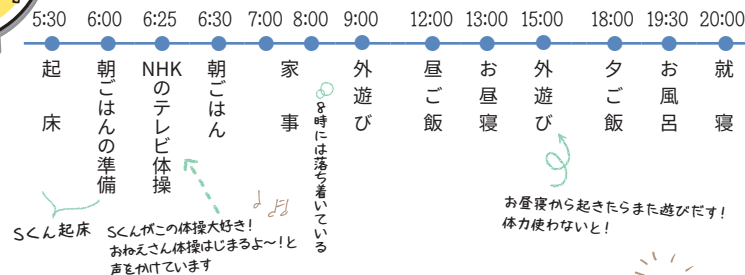
移住当時、放射線に関する情報は報道で多く取り上げられていたものの、暮らすこと自体に大きな不安はありませんでした。田舎町で暮らすことにも、抵抗ありませんでした。

妊娠してからですね、不安や悩み事が一気に増えたのは。「近隣に子育て世代の人は暮らしているのか」「誰に相談したらいいのか」困りました。健診はいわき市の産婦人科に通っていましたが、距離が遠いこともあり、「夫がいなくて陣痛がきたらどうしたらいいの?!」とドキドキしていました。この悩みは、第二子妊娠中の今も同じくありますね。

長男出産時、夫が在宅中に破水したのは幸いでした。



1日の過ごし方



お買い物事情

普段は町内のスーパーを利用していますが、通院などのついでに、いわきで買い物することも。ドラッグストアがないのを不便に感じていたので、町内に新しくできた薬局はどんな感じかな、と期待しています。

病院事情

長男のかかりつけは町内の小児科さん。予防接種も、同じところでお願いしています。妊娠・出産の際に利用する産婦人科はいわき市の病院を利用しています。

Q 榎葉での、暮らしぶりを教えてください。



長男は本も好きですし、外で遊ぶのも大好きなんです。農家なので、畑や田んぼが遊び場になっています。おしゃべりが上手になってからは、農業機械の真似をすることがすごく面白くて。

あとは、2~3kmの距離は平気で歩きます。体力もついてきたので、午前も午後もとにかくたくさん体を遊ばせてあげようとしています。義両親と暮らしていることもあり、ごはんやお風呂の時

Q コロナの影響はありましたか?



近隣に同世代の人が少なく、そうでなくても人と会う機会が多くないのに、より人と会う機会がなくなってしまいました。ママ友にも会っていないのか、判断がむずかしいなって。家族以外の交流が減って、ストレスを感じています。これまでのように友達に会う機会がなくなったことで、長男が同年代の子と交流する機会が減ったことが気がかりです。長男の年齢だと「どのくらいおしゃべりするものなのか」「からだの発育は順調か」など、同年代の他の子どもの成長具合が見えないことも、困りごとのひとつです。



《お二人とも福島市出身》



長女Sちゃん

《取材当時 2歳4ヶ月》

葛尾村の子育て支援はどんなものがあるの？

- ・「みらい子ども助成金」の支給
- ・「君の椅子プロジェクト」
生まれてくるお子さんに椅子の贈呈
- ・出産祝金の支給
(第1子10万円、第2子以降は増額)
.....など

(※詳細は行政HPなどをご覧ください)

Q おふたりとも福島市出身ですが、
どうして葛尾村で暮らすことに？

2014年に結婚し、2018年に長女を出産しました。

県中地域で結婚生活を送っていましたが、夫の転職を機に2019年春に家族で

葛尾村に移住しました。夫が前職で村に関わることが多くあり、ここで仕事したいと転職を希望したことがきっかけです。

Q 葛尾で暮らすこと、子育てすることに不安を感じることはありませんでしたか？

移住に向けて、生活面や経済面、子育て環境などについて夫婦で何度も話し合いを重ね、お互いに納得して、移住に踏み切りました。

葛尾村の子育て支援はかなり充実していて、移住を決める上で大きなポイントになりました。

給食費が無料であったり「葛尾村みらい子ども助成金」もある。研修旅行や夏期講習など、小・中学生になれば教育面での独自の取り組みも

ありますし、児童数が少ない
分先生がしっかり見てくれま
すよね。

5教科だけの教育ではない
創造性とか新しいことをつ
くっていくということが、これ
からの時代には大事になって
いくので、村での子育てはいい
環境だと考えています。

Q 葛尾での、暮らしぶりを教えてください。

村では年配の人でも当たり前
に声をかけてくれるので、い
ろんな世代の人と関わること
ができています。その中で、
思いやりや想像力を育むこと
ができるんじゃないかなと期
待しています。

ママ友会やお父ちゃん会のほか、スポーツクラブや大会もあって、暮らしているみんなの顔が見えるというのも、

村での暮らしの特徴です。

一方で、長女と同年代の子どもはまだまだ少ないので、そこは親が工夫して、スポ少など同年代と関われる機会をつくるのが大事と考えています。

妻が仕事を本スタートするまでは、かつらお幼稚園の一時預かり（利用上限週3日）を利用していました。

その頃、お休みの日には『復興交流館・あぜりあ』はもちろん、郡山市や本宮市の遊び場を利用していました。

1日の過ごし方

ママがお休みの日ver.

[illegible]

お買い物事情 >

普段の生活では、隣の田村市のお店や『あぜりあ』での週一度の直売を利用しています。

郡山市や本宮市にお出かけすることもあります。

病院事情

村内の診療所の小児科は週1のみなので、
子どものかかりつけは三春町・田村市の小
児科を利用しています。
コロナの影響で、田村市の夜間診療が休
診していた時は、郡山市までいきました。

Q コロナの影響はありましたか？

都会だとしても人が多く、どこで何をしているか把握することもできませんが、葛尾であればそういったこともありませんから、自分の予防で防げる、という思いで過ごしています。

子どもを連れての買い物は

抱っこで、時間をかけずに済ませるように注意しています。

幼稚園でも十分に対策してもらいつつ、村内居住者だけなので、そこまで神経質にならず子どもを遊ばせることができます。

子ども達は『おうち時間』を
何して過ごしてるの？ *stay Home*

子ども達のストレスも、パパママのストレスも
最小限に。文明の利器に頼るご家庭多数！

1 DVD
とにかくお気に入りのアニメは飽きず
に何回も見るので、ママもセリフを覚
えてしまったとか！

2 YouTube

使っていないスマホで動画鑑賞。早送りや広告飛ばしまでいつのまにか習得している。時代ですね…!

3 お庭でピクニック&BBQ

時間がある日は、気分を変えて庭先で
ブチアウトドア。周辺に民家が少ない
田舎だから気を遣うこともない?! (笑)

編集後記

情報誌の制作を決めたとき「いつか必ず実現するぞ」と密かに企んでいたのが、この「ふたばで子育てする人のリアルボイス」コーナーでした。

取材を担当したスタッフも双葉郡で子育てしていますが、“子育て関連インフラの充実はこれから”の、この地域での暮らしはまさに試行錯誤の日々。「お休みの日は子どもとどこで遊ぼうかな」「子ども用品・服はどこで買い物するのがいいだ

ろう」などなど、他のご家庭の暮らしぶりがとにかく気になる！参考にしたい！と思うことが山ほどあるのです・・！

このインタビューが、おなじく双葉郡で子育てしているママ・パパに「なるほど!」や「双葉郡での暮らしがもっと楽しくなりそう」という思いを届けられたらいいなと思っています。

次号もお楽しみに。

